

# 神奈川県自然公園だより

(財) 神奈川県公園協会 自然公園課 (〒231-0015 横浜市保土ヶ谷区花見台4-2 TEL045-211-5483 FAX045-338-1866 <http://www.kanagawa-park.or.jp/>)

## 丹沢湖ビジターセンター 【山北町玄倉515 Tel 0465-78-3888】

皆さんはどんな夏休みを過ごされましたか？ ビジターセンターでは、夏休みに合わせて3つのテーマで自然教室を開催しました。



7/29開催の『はじめての地学ハイク』では、谷峨駅から丹沢湖まで、とっておきの地学ポイントをめぐりました。丹沢の成り立ちが、目の前に落ちている石から解き明かされていく不思議さに全員夢中になり、時間があっという間に過ぎました。「つきそいのつもりで来たけど、はじめての体験だらけで自分も楽しんでしまった！」という参加者の声が印象的でした。

8/4開催の『自然調査にチャレンジ!』では、土の生きものの調査に挑戦しました。土壌動物の種類や捕まえ方の説明をうけたあと、実際に土を採集し、手作りの吸虫管で土壌動物を捕まえて観察しました。「うちの班は、お昼を早めに食べ終えて、もう一度調査をしよう！」熱中する大人の方の姿が見られました。

8/5開催の『めざせ!川あそびの達人』では、親子で達人を目指して、沢を遡ったり、魚を追ったりして遊びました。また、流れの早い所や深い所など、川の危険な場所についても、実験を通じて学びました。「子どものために、これからも川の危険な所をしっかりと知っておきたい」最後のふりかえりでのお父さんの言葉は、私たち職員が伝えたいメッセージでもありました。



今後も、様々なテーマで自然教室を開催します。ぜひご参加ください! (斎藤)

## 山岳スポーツセンター 【秦野市戸川1392 Tel 0463-87-9025】

7月の気候は毎日ぐずつき気味でしたが、いよいよ真夏の青空が広がって暑さも最高です。秦野戸川公園まつりの体験フリークライミング、親子シャワークライミング(体験沢登り教室)等、開設10周年記念行事が一段落しましたが、夏の山岳スポーツセンターは連日宿泊客で満員の状況です。

近くの花畑ではヒマワリが見事に咲いています。行儀よく太陽に向かって勢ぞろいの姿に思わず見とれます。ヒマワリ畑から快晴の三ノ塔・二ノ塔が真近に迫り夏本番です。(小清水)



快晴のヒマワリ畑から  
真夏の三ノ塔・二ノ塔を望む(8月9日)

## 陣馬自然公園センター 【相模原市藤野町佐野川659-3 Tel 0426-87-5270】

7月：7～8日に「和田の里アジサイ祭」が行われました。約1,000本のアジサイが山の斜面に咲き誇り、訪れた観光客には花を見ながら民家の軒先で、地元で採れたお茶が振舞われました。

夏休みに入ると、センター前の沢井川で川遊びをする親子連れや、キャンプ場で合宿をし周辺散策にとセンターを訪れる生徒さんが、木の実や花の種で作るクラフト作品を見てとても感動していました。



タマゴダケ

陣馬山では白い卵のような膜を破って中から真っ赤な艶のある傘が現れるタマゴダケが出始めたようです。来館者はその真赤な色で食べられることを知りびっくりしていました。

また、夏の花々の蜜を吸うアサギマダラ・ウラギンズジヒョウモン・サカハチチョウなどが舞い、オオバギボウシ・ヒヨクソウ・トリアシショウマ・タケニグサ・ウツボグサなどの花々が強い日差しに負けず元気に咲いていました。

センター周辺で水しぶきを浴びながら、沢沿いに咲いているタマアジサイは、ジリジリと焼きつくような日差しを浴びながら陣馬山頂を目指す登山者に一時の涼を与えてくれます。クロアゲハ・キチョウ・オニヤンマ・オオシオカラトンボも強い日差しを浴びながらきもちよく飛んでいます。(荒井)



タマアジサイ

## 宮ヶ瀬ビジターセンター 【清川村宮ヶ瀬940-15 Tel 046-288-1373】

猛暑が続いた8月前半、宮ヶ瀬でも朝から30度を超える日があり、涼を求めて、冷房の効いた館内に飛び込まれる方が多くいらっしゃいました。そんな暑い中でも、子どもたちは元気です! 12日(日)のミニ自然観察会では、「暑いのでいやだ〜」と最初は乗り気でなかった子どもも、観察会が始まると熱心に昆虫や植物を観察し、夏休みの宿題に活かしてくれるとのことでした。

夏休み中の子どもたち、虫かごや網を持っている姿もたくさんありました。昆虫など自然の生きものと触れあうことは、子どもたちにとって、とても大切なことです。生きものとの触れあいを通して、それを取りまく自然を理解し、愛する心も生まれると考えます。そんな触れあいには、ビジターセンターも積極的に応援したいと思えます。しかし、「クワガタは、どこに行けば捕まえますか?」というような質問には、残念ながら詳しくお答えすることは出来ません。不特定多数の方々に特定の生息場所をお教えすることは、そこに集まる特定の生きものに生存の危機をもたらします。



登山道で出会ったノギリクワガタ



めったに出会わないミヤマクワガタ

生きものとの触れあいと昆虫採集、昭和の頃までは当たり前のように両立出来ていたことが、今の世の中では難しくなっているのは、なんだか悲しいですね。それでも、子どもたちには、今の時代にあった、生きものによりやさしい自然観察を楽しんでもらいたいと思っています。(長澤)

## 秦野ビジターセンター 【秦野市堀山下1513 Tel 0463-87-9300】

夏の暑い日ざしの中行われた自然教室「発見!ぼうけん!川たいけん!」。たくさんのご応募があったため、追加開催も2回実施し、総勢66名もの親子が参加しました。

まず、川はどこから来て、雨が降らなくてもずっと流れているのはなぜか、その秘密を探りに森へ行きました。

森の土は柔らかく、小さな塊がたくさんあり、それが虫のウンチや落ち葉からできていることにびっくりでした。そして森の土に雨を降らせる実験では、水がどんどん土に染みこんでいく様子や、土に染みこんだ水が少しずつ出てくるところを観察し、土の保水力を実感しました。そして、午後には丹沢の山々に降った雨を集めてできた川に行き、川のイキモノを探しました。石の裏側をそっと観察したり、手作りの箱眼鏡で水の中を眺めたり。サワガニやカワゲラ、ヘビトンボの幼虫、石をくっつけて隠れ家を作っているトビケラなど、たくさんのイキモノを発見しました。



森に降った雨が少しずつ少しずつ出てきて川になり、その水を私たちは利用していることを知り、そこにはたくさんのイキモノが生きていることを発見し、森や川の大切さを学んだ一日でした。(篠島)